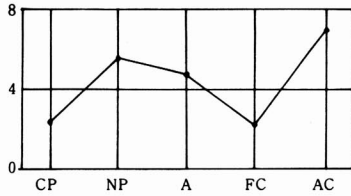
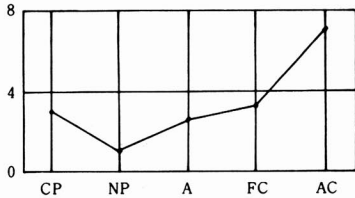


<自己否定・他者肯定型>



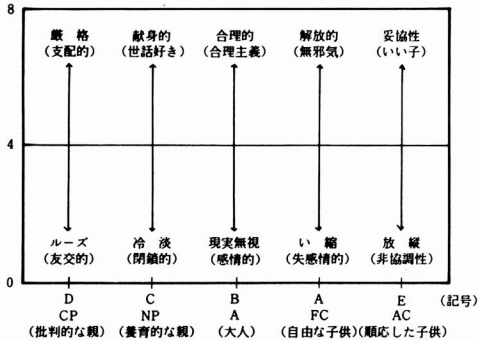
- AC, NPが高くFCが低い。アルファベットのNの文字のような型である。この型は劣等感に悩み、ゆううつな気分になりやすく、自由さが無い。

<自他否定型>



- 悲観的な人生観を持つ、NPが最も低い谷である。他人との交流を拒んで閉鎖的になるが内心では愛を求めている。

(2) 個々の自我状態の解釈



- ① CPの得点が高い場合この人の自我状態は、厳格あるいは支配的であることを示し、得点が高い場合はルーズあるいは友交的であると考えられる。
- ② NPの得点が高い場合は献身的あるいは世話好きであると見られ、低い場合は冷淡あるいは閉鎖的であると見られている。
- ③ Aの得点が高い場合は合理的あるいは合理主義であることを示し、低い場合は現実無視あるいは感情的であると受けとめられ

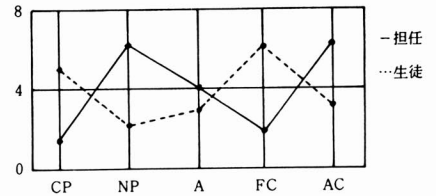
ている。

- ④ FCの得点が高い場合は解放的あるいは無邪気であると見られ、低い場合はい縮している、あるいは失感情的であると見られている。
- ⑤ ACの得点が高い場合は妥協性がある、あるいはいい子であると見られ、低い場合は放縦あるいは非協調性がつよいと見られている。

5. 事例

○ 「担任と気のあわない生徒の例」

ある特定の生徒とよくトラブルをおこす担任が、その理由はどこにあるかを知るために自分と生徒のエゴグラムを比較したら、次のようであった。



- 担任はわれを忘れて自由に楽しく遊ぶことが苦手のタイプである。それに対して、生徒は全く無邪気に思った言動をとるようなタイプである。つまり担任は自由にのびのびとふるまう生徒と、そのようにふるまえない自分との間に何か不調和さを感じていたと思われる。

その後、担任は生徒と野球を一緒にやることによって、自分も楽しくすごすようになり二人の関係は好ましい方向に改善されてきていると述べている。

6. おわりに

今後カウンセリングの中でエゴグラムを生かしていくように更に工夫と努力をはかっていきたい。